

# 県生協連 NEWS

●発行：徳島県生活協同組合連合会 ●発行日 2005年5月31日（N09）  
●住所：徳島県板野郡北島町中村字東堤の内 30-3 ●電話、FAX：088-698-3910  
●HP：<http://kenren.jccu.coop/tokushima/> ●Email：Yu.Sasaki@mc5.seikyoku.ne.jp

## 今、発想の転換の時

今、平成の大合併と言われる合併が盛んに行われている。しかし、その発想は、自分が属する市町村にとって、有利になることから発しているのではないだろうか。

これはやむを得ないことである。なぜなら、人間は本能的に自分（たち）を中心にして、有利か不利かを発想するものであるからである。

私は今まさに、私心を捨てて、発想を転換しなければならない時であると思っている。自分や部分だけのことを考えていたのでは、全体が崩壊する。そして、今、全体が危機に直面しようとしている。その全体とは我が日本そのものである。まさに国そのものが非常事態宣言を発しなければならないほどの危機的な状況に一刻一刻近づいている。このことに気づいている人は案外少ないし、気づいていても何とかかなるのではないかと思っている。

少子化の原因の一つとして、若者が我が国の行く末に対して、そしてこれからの時代に大きな不安を抱えていることがあると思う。今の政治を見るにつけ、自分たちに不利・不都合なことは、先送りする手法がまかり通っていると感じる。自分たちの利益を守ったり、負担を回避するために、後の世代に「つけ」を回している。それが、過去に例をみないほどの国や地方の財政の悪化を招いた。そして、いまなおその悪化に歯止めがかからない。

そして、今なお、国の予算編成では、歳出は歳入の二倍であるというやり方から脱却できていない。若者はこのつけは自分たちや子供や孫に及んでくることを敏感に感じとっているのである。

この出口の見えない窮状を打破するには「大ナタ」をふるって大胆かつスピードをもって改革するしかない。小手先の改革ではだめなのである。今改革しなければ、「つけ」は雪ダルマ式に増えていくことは日を見るよりも明らかである。

国の枠組みを見直すという視点での改革として、市町村合併では全く不十分と言わざるを得ない。「道州制」の導入こそ大胆かつ大きな改革となる。組織は簡素・簡単ほど効率が高まる。濃やかな行政サービスを求めることを重視するという考え方に立てば、ことの本质を見失い、子孫に禍根を残すことになる。サービスよりも、自己責

任・自助努力が求められる時期であるという認識をもたねばならない。その意味からも、国民・県民・市民の意識改革、すなわち、国や地方自治体に補助・援助・サービスを要求していくといったやり方からの脱却が求められるのである。

私は今の市町村合併を完全に否定するということを行っているのではなく、それをゴールにしてはいけないということである。すなわち、次のステップとして、道州制までもっていくことが、どうしても必要であるということである。アメリカのカリフォルニア州は本州の面積がある。そして、州として立派に機能し、発展が顕著である。そのことから考えても、「四国州」は立派に機能すると考える。情報通信が発達した今、大きな枠は決してデメリットにはならない。仮に、大きな枠組みにより、多少行政サービスが低下したとしても、ある程度は我慢することが必要である。中途半端な改革では意味が少ない。

大きなうねり・流れの中で物事を見ていく・考えていくこと、自己中心的な考え・発想から脱却することが、今求められていると認識する。痛みに耐え、過去からの積み重なった負の遺産を清算することが、今の最重要課題であることを、多くの国民の共通認識として、改革を実行に移すことができるかが問われている。今、我が国は大きな岐路に立っている。後の世代が明るい未来に展望をもち、夢を求め、夢が実現できる仕組みの構築・土台作り・条件整備を、我々の世代が今しておかなければならない。しかし、今の政治や行政のやり方、そして国民の意識は自分・自分の世代さえよければよいという手法・考え方から一歩も踏み出せていないように思う。

今まさに、将来を見通し、現実を直視し、広い視野に立ち、意識・発想の転換をしなければ明日の日本はない。もう時間はあまり残されていないが、今からでも遅くはない。

（徳島県学校生活協同組合 理事長 久保 修）



徳島県学校生協・事務所

# 少子高齢化社会と協同運動

牟岐東漁業協同組合 理事長 井元 健二

上をみれば「キリ」がありませんが、日本国民は豊かさや寿命の点では「まあまあ」ではないでしょうか。本来なら喜んでいいはずなのに、素直に喜べない、それは多分、過去の繁栄や喜びの条件（豊かさへの追求手段と価値観）を変えないと、やがて衰退と悲しみになっていく。こんな予感を抱いているに違いないと思います。よく似た環境をお見せします。私共、獺師のそれは獲ることでした。昼夜を問わず獲り続けました。その結果、わずかですが目的が達せられたかに見えましたがそれは錯覚でした。それどころか曾っての成功手段“獲ること”からの脱却がままならず、今、徐々に逆作用となって衰退の大きな要因となりだしております。

一皮むいて迫ってみますと、獲ることに、頼らない新しい雇用の場を早くつくらないと、“本業も手を上げてしまう”こんな危機感があって、現場では、実は必死になって取組中です。

一人は万人のために、万人は一人のために  
組合と組合員、個人と地域共同体、これらの一体感がだんだんと薄れていっているように思います。他方、地球規模的に発生する自然災害から学ぶものは、地域共同体と一体となって取り組んでいる再生活動です。このような光景を眼のあたりにしますと、自然は我々人間の傲慢さを戒める為に、逆境という試練を与えているのではないかと思われるのです。

自分と他人との関係、個人とコミュニティーの関係、自然と人間の関係、私達はこうした関係を軽くみている。つまり、「私一人で生きていけるわよ。」こうしたつながりを否定する態度です。協同組合が危ないのは、経営だけでなしに、もう一つの赤信号も忘れてはならないと思います。

文明人であるはずの私達が確実にやってくる将来の課題に対し、それすら方向性が見い出せないようでは、自ら厳しい試練を負い、そこから身をもって学んでいくしか方法は無いかも知れません。

牟岐東漁業協同組合ホームページ（表紙の一部） <http://www.nmt.ne.jp/~marugin/>



徳島県・牟岐町

牟岐東漁業協同組合 JF 牟岐東

今年のおわびまつりの様子



2005.05.07 おわびまつりでの魚のつかみ取り



「とこぶし」宅配便、ご利用お願いいたします。  
これから梅雨入りにかけて、おいしい時期を迎えます・・・



「GSバッテリー GMXシリーズ」好評販売中！

価格で「海の男を応援！」いたします。その他メーカーバッテリーも販売中！

堀有三さんを迎えて、「風といのちの詩」(上映会) 徳島県生協連 開催!

## 120名の参加で盛況、自然との共生を考える!

桜も満開となった3月30日、ふれあい健康館で自然との共生を考える映画とビデオの上映会を開催しました。

この企画は、徳島県生協連の組合員活動世話役のメンバーを中心に進められ当日の運営もほとんどが世話役さんの手によって進行しました。

八木会長(徳島県生協連)から「二つのビデオと映画から共通するメッセージを受取り考えてほしいと思います」とあいさつがあり開会。

まず「ドキュメンタリー・遺伝子組換え NON! ~フランスからのメッセージ」のビデオ上映。フランスの消費者を中心に遺伝子組換え食品への意見を綴っていきます。

つづいて映画のプロデューサーである堀有三さんのトーク。「私は、自分で無農薬の野菜を作ったりして生活しています。生産者の立場から少し発言させていただくと生協は買う立場と売る立場とがあり、遺伝子組換え食品などでも生協もあらためて活動の原点を考えて



世話役さんによる受付などの準備中



欲しいという希望があります。今回のドキュメンタリー映画は、見ていただいた人にも感じてもらうようにしました。余計なナレーションは一切入っていません。その点では分かりにくいかもしれませんが。眠たい人はどうぞ寝てください。でも一番喜んで見てくれたのは小学生でした。一番寝ていたのはお母さんでしたが(笑)。もう一つだけ事前にメッセージを送らせていただくとこの映画はボランティアということも考えていただこうと思っています。」

いよいよ「風といのちの詩」の上映。今回の映画の挿入歌は全てオリジナル曲。まずは美しい女性の歌声で開始。

つぎつぎと映し出される自然と生き物の生態。その誕生と死。生きる躍動と死の残酷さが展開される。

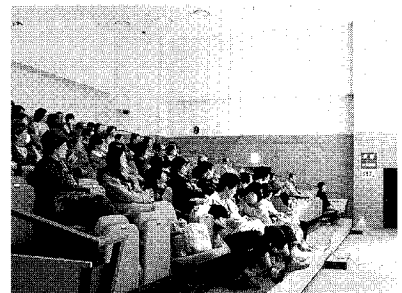
また音の録音が素晴らしい。小川のせせらぎ、海の波、野生馬の疾走する音、祭りの太鼓や鉦など映像の美しさをいっそう際立てている。

ドキュメンタリー映画では異例とも思われる1時間半の上映時間があっという間に過ぎ去った。

ナレーションが無くても人間も自然の一部であり、自然と共生してきた悠久の歴史があり、人間にとっての本当の豊かさをしみじみと考えさせてくれる。そして鑑賞後は、何だか心温かく一方爽やかな清涼感で気持ちがいっぱいになった。最高のヒーリング映画なのかもしれない。

終了後堀プロデューサーに暖かい拍手が続いた。参加者は、2回上映で120名。

関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。有難うございました。(徳島県生協連・事務局・佐々木有)



**「当面の徳島県生協連活動の考え方及び進め方」(第一次案)について、以下の通り第12回通常総会資料として報告するものです。会員及びメンバーのみなさんにもよく検討していただき意見をお寄せいただきたいと思います(事務局)。**

● 徳島県の生協運動の到達点

- 会員の事業と運動の到達点
  - 1、事業規模
    - ① 事業内容
    - ② 供給高、組合員数、
    - ③ 損益状況、財産状況
  - 2、取り組んでいる運動課題
- 県生協連の活動の到達点
  - 1、取り組んでいる活動内容
  - 2、財政規模、会費基準

● 組合員と生協を取り巻く情勢

- 現在、「民間活力活用」「規制緩和」「自己責任」などの名のもとに、多くの人々を競争に追い立て、競争から脱落した人々から展望を奪い、生活破綻を起させ、暮らし、労働、中小企業経営などをますます厳しい状態にしています。そうした社会状況だからこそセーフティネットの充実が求められていますが食べ物・子育て・教育・年金・医療・介護などにかかわる「安全・安心」はむしろ不安を助長するような事象が相次いでいます。また、社会状況の反映もあり悪徳業者による消費者被害も増加の一途をたどっています。こうした状況に対して公的及び個人の取り組みの強化が求められていますが相互扶助による共同の取り組みもその重要性が増しています。
- 未来を担う若者を取り巻く状況も厳しいものがあります。未来に展望の持てない社会、強いものだけが生き残る社会風潮の中では、子育てには大きな不安があり、出生率低下もこうした社会状況の反映でもあります。若者が安心して子育てのできる社会作りに協力共同の生協も役割を發揮することが求められています。
- 昨今の異常気象、台風の発生も地球温暖化の影響が指摘されています。このように地球温暖化

による異常気象は、日常の生活にも具体的な影響を及ぼすところまで来たといわざるをえません。環境問題への取組みは、人類共通の生存条件として取組みの強化が求められます。

- 流通情勢も徳島県内でも新たなショッピングセンターの出店やコンビニエンスストアの面展開などで競争激化はますます厳しくなっています。
- このように生協と組合員をめぐる社会状況は急速に変化し生協への期待も高まっており、合わせて組合員自身の年齢変化によるライフステージやライフサイクルの変化も進行しています。こうした変化と期待にしっかり対応し事業、運動の両面から組合員の要求を実現し役に立つ存在であり続けなければなりません。組合員のくらしと平和を守る要求のためには、競争だけではなく助け合いの社会を目指す生協の役割がますます重要です。同時に県内の生協のまとまりの場である県生協連としても会員の生協活動発展と推進のために役立つ活動の強化が求められています。

● 県生協連活動の基本的な考え方

- 県生協連活動は、会員及び会員に加入されている組合員はもとより県民全体を対象とします。活動の基本理念は、協同です。一人では発言し行動しにくいことでもまとまれば大きな力となる可能性があります。こうしたくらしの協同を、県民の中に広げ、根付かせ、一人ひとりの県民、組合員にとって良かったと思える活動を目指していきます。
- 活動の目的は、県民、組合員の要求に基づき、①食べ物・子育て・教育・医療・介護・年金などくらしの安全、安心を実現していくこと。②環境を守り持続可能な社会づくりに参加していくこと。③戦争のない平和な社会、基本的人権の守られる社会づくりに参加していくこと。
- 徳島県の特徴を生かした独自性を發揮し、地域社会や地域文化の振興に貢献するようにつとめます。

● 県生協連活動の役割

- 会員活動をサポートすること。
  - ・ 共同での研修活動
  - ・ 事業や運動の交流
- 会員の声をまとめ、力を發揮できるようにすること。
  - ・ 県内の組合員15万世帯の声を集め、消費

者としての発言や世論の喚起をはかる。

- ・ 家計調査活動を進める
- ・ 行政などへの要求実現運動を進める。

○ 生協の社会的認知度や好感度を高めるようにすること。

- ・ 生協全体としての広報活動を進める。

○ 県内生協を代表する渉外活動を進めること。

- ・ 県行政との関係

○ 県内の消費者問題などについての政策提言活動をする事。

- ・ 食の安全、安心
- ・ 消費者政策
- ・ 環境問題
- ・ 農業再生、食料政策
- ・ 医療、介護問題

○ 県内の食文化などを伝え広めること。

● 当面の活動の重点課題と目標

○ 課題1. 徳島県の生協のまとまりの力で会員要求実現を支援する。

- 1、食べ物・子育て・教育・医療・介護・年金などくらしの安全、安心の実現に貢献していく。
- 2、環境を守り持続可能な社会づくりに参加していく。
- 3、戦争のない平和な社会、基本的人権の守られる社会づくりに参加していく。

○ 課題2. 徳島県の消費者団体としてまとまった力を発揮し生協の知名度や好感度の向上に貢献する。

- 1、会員活動の交流を進める場を設ける。
- 2、消費者問題に会員及び県内の諸団体、専門家、個人と連携し取り組む。
- 3、生協の知名度や好感度を向上させる広報活動を進める。

○ 課題3. 徳島県の生協を代表し行政などとの協力連携活動を進め渉外活動を推進する。

- 1、日本生協連や近隣生協連との連帯活動を進める。
- 2、徳島県など行政との協力連携活動を進める。
  - ①災害時物資協定の締結を進める。
- 3、JA など協同組合間提携活動を進める。
  - ①国際協同組合デーの企画に取り組む
- 4、労協協など県内各種友好団体との連携活動を進める。

○ 課題4. 徳島県生協活動のビジョンを作成し活動を推進する体制・予算を整備する。

- 1、会員の健全経営の実現のための情報交流の場を設ける。
- 2、会員の役職員教育・研修の場を設ける。
- 3、ビジョン委員会を設置し徳島県生協活動のめざすことを明らかにする。
- 4、県生協連活動を進める体制・予算を整備する。

徳島県生協連・第12回通常総会

- 日時 2005年6月24日(金)  
午前10時~12時
- 場所 ウエルシティ徳島厚生年金会館
- 議題
  - 第一号議案 2004年度活動報告承認の件及び
  - 第二号議案 2004年度決算報告及び剰余金処分案承認の件  
2004年度監査報告
  - 第三号議案 2005年度活動方針並びに予算決定の件
  - 第四号議案 第10期役員選挙の件
  - 第五号議案 議決効力発生の件

第11回総会風景



# 徳島県第83回国際協同組合デーの案内

2005年度国際協同組合デーの取組みは、徳島県生協連が当番県となり企画・準備をすすめています。下記の内容で開催しますので会員の役職員の参加をお待ちしています。

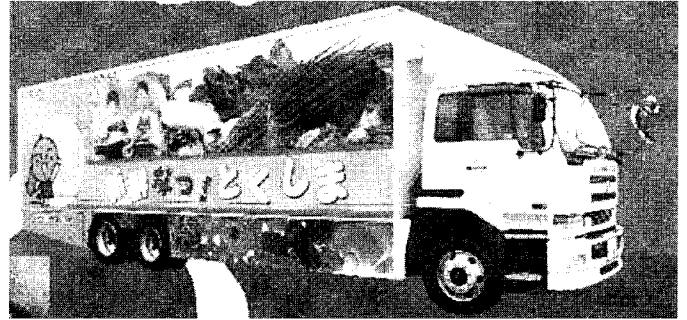
とくに今年は、二つの企画で充実した内容をめざしています。

一つは、徳島県「新鮮なっ!とくしま」号を活用した徳島県産地産地消産物の紹介と試食です。とくしま生協コープ北島の店頭トラックが来て実演します。料理は、「スローフードの会(とくしま生協サークル)」の協力で試食をメニューを作ってもらいます。

二つ目は、地産地消をテーマとしたパネル・ディスカッションを行います。コーディネーターは、中嶋信徳島大学教授です。各協同組合から生産者、消費者の代表に参加

していただくことにしています。

## 新鮮なっ!とくしま号



2005年5月16日

徳島県農業協同組合中央会 殿  
徳島県漁業協同組合連合会 殿  
徳島県森林組合連合会 殿

徳島県生活協同組合連合会  
会長 八木 正江

### 徳島県「第83回国際協同組合デー」行事の開催について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、協同組合運動の発展に精励されておりますことに対しまして心より敬意を表します。

さて、第83回国際協同組合デーの行事を下記の要領で開催致したくご案内申し上げますとともに、関係者のご出席をお願い申し上げます。

敬具

#### 記

- 1、主旨 国際協同組合デーは毎年7月第一土曜日と決められており、これを契機として協同組合運動の意義を確認し、協同組合間の提携、協力関係をより前進させるため、本県の協同組合関係者が相集い民主的な運営の確立と協同組合運動の発展を期する。
- 2、日時 2005年7月6日(水) 午前10時00分~12時30分
- 3、場所 とくしま生協 コープ北島店頭  
(板野郡北島町中村東開17 TEL088-698-6969)  
徳島県北島町役場7階大ホール  
(板野郡北島町中村字上地23-1 TEL088-698-9801)
- 4、参集範囲 各連合会並びに会員の役職員
- 5、テーマ 「徳島県の地産地消産物を知り、味わい、広める」
- 6、内容
  - (1) 徳島県「新鮮なっ!とくしま」号を活用した徳島県産地産地消産物の紹介及び試食
  - (2) 徳島県の地産地消をテーマとしたパネル・ディスカッション

# 会員のホーム・ページ紹介

徳島大学生協 <http://www.t-coop.com>

コープ自然派徳島 <http://www.shizenha.ne.jp>

徳島健康生協 <http://www2.tcn.ne.jp/~hcoopt/>

とくしま生協 <http://www.tokushimaseikyuu.or.jp>

# トピックス

徳島県生協連・ホームページ開設

<http://kenren.jccu.coop/tokushima/>

徳島県生活協同組合連合会

会員生協紹介 | 県連の紹介 | 県連の活動 | 県連ニュース | 会員生協のとりくみ | リンク集

母なる川、四国三郎 (吉野川)

TOKUSHIMA KENREN

トピックス

4月6日「風といのちの詩」上映会開催報告(2005.4.6)  
ホームページを開設しました(2005.3.1)

〒771-0203  
板野郡北島町中村字東堤ノ内30-3  
TEL.088-698-3910  
FAX.088-698-3910

会長 : 八木 正江  
会員生協数 : 7生協  
総組合員数 : 160,780人  
総事業高 : 188.8億円

徳島県生活協同組合連合会 | 〒771-0203 板野郡北島町中村字東堤ノ内30-3

## 2004年度第5回理事会

- 2005年3月18日 (金)
- とくしま生協・コープ住吉
- 内容
  - ・ 映画上映会
  - ・ 第12回通常総会
  - ・ その他諸報告

## 2004年第6回理事会

- 2005年5月20日 (金)
- 徳島県郷土文化会館
- 内容
  - ・ 第12回通常総会
  - ・ 第83回国際協同組合デー
  - ・ その他諸報告

## 日本生協連のホームページ

<http://www.co-op.or.jp/jccu/>

## 編集後記

- 今回は、2005年度の初回号であり、重要な行事の案内をしています。参加の方をよろしくお願いいたします。
- 県生協連もホームページを開きました。これを機会に会員ホームページを開設されているところを紹介しました。ぜひ訪れて感想をメールでも送っていただきますと担当者の励みにもなると思います。